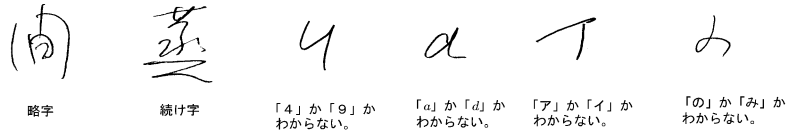


## 実力テストの答案の書き方に関する注意点

### ① 文字は正しくていねいに書くこと。

漢字・ひらがな・アルファベット・数字など丁寧に書かないと、何を書いているのか採点者に正しく判断されなかったり、別のことばの意味にとられたりする場合があります。採点者が見ても読み取れるような文字を使うことを心がけましょう。

(正しくない例)



### ② 書き間違えた場合は、消しゴムでしっかりと消して書き直すこと。

きれいに消していない場合、正しく判断されない場合があります。消しゴムを使ってきれいに消し、ていねいに書き直しましょう。

### ③ 解答欄には解答以外のことを書かないこと。

「式とともに答えなさい。」など、問題文中に指示がある場合以外は解答だけを書きましょう。もちろん全く関係のないものを解答欄に書いてもいけません。

### ④ 解答欄を間違えないように気をつけること。

テストなどでは、時間を気にするあまり、解答欄を間違えてしまうことがあります。一問一問、解答欄を確認しながら解いていく習慣を早い段階からつけておきましょう。

### ⑤ 選択問題のときは、記号に気をつけること。

記号には大文字、小文字、ひらがな、カタカナなどいろいろな種類がありますので、どの記号で答えるのか問題をよく見て答えましょう。

### ⑥ 解答欄に書かれている単位・文字に気をつけること。

解答欄に単位が記入されている場合は値のみを書きましょう。また、単位をつけて答える場合は単位もつけて確実に書きましょう。

## 各教科からの注意点

### [英語]

- ①英語はブロック体で正確に丁寧に書くこと。(2・3年生は筆記体でも可)
- ②英文で書くときは、記号(ピリオド、クエスチョンマーク)も忘れずに書くこと。
- ③単語のつづり間違いや、大文字・小文字間違いに注意すること。

### [数学]

- ①分数や比を答えるときは、必ず約分し、できるだけ簡単な数に直して答えること。
- ②作図を行うときは必ずコンパス・定規を使い、作図に使用した線は消さずに残しておくこと。

### [国語]

- ①漢字の問題では、一画一画ていねいに書くこと。
- ②問題の条件を守ること。  
「抜き出して」ならば、文章に書かれている通りに一文字ずつ正確に書くこと。  
句読点やカギカッコなどは、基本的にすべて字数として数えます。  
「一文で」ならば、必ず句点(。)までつける必要があります。

### [理科]

- ①計算問題で値を答える場合は、分数のままではなく、小数に直して答えること。
- ②作図では定規を使うこと。
- ③生物名はカタカナで書くこと。

### [社会]

- ①人名・地名・事件名などは正しく書くこと。